

立命館アジア太平洋大学の学長候補者の公募について(公募要項)

立命館アジア太平洋大学(以下「APU」と称します。)は、現学長の任期が2023年12月31日をもって満了するため、次の任期にあたっていただく学長候補者を以下の要領で募集いたします。

1. APUの概要

APUは、「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、地元地域や国内外の広範な人々の協力を得て、2000年4月に日本の大分県別府市に開学した私立大学です。世界市民の育成を目的としてこれまでにほぼ類を見ない新しい多文化・多言語学習環境を築いてきました。2022年11月には、開学後初めてとなる103の国・地域(日本を含む)から集った約6,000名学生が、国や文化、宗教、政治、価値観等の違いを乗り越え、共に暮らし、世界が直面する課題の解決のために学んでいます。教員の半数も外国籍という、世界でも極めてユニークなグローバル大学です。現在、アジア太平洋学部・アジア太平洋研究科、国際経営学部・経営管理研究科の2学部・2研究科で構成されており、開学24年目を迎える2023年4月には、新たにサステナビリティ観光学部を新設します。

APUは、国内外でも評価を得つつあり、2014年度には文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援構想(SGU)の37校の1校に採択されました。国際的にも国際経営学部が経営系の学部・大学院の国際認証であるAACSBの認証を獲得、経営管理研究科が大学院レベルのマネジメント教育の国際的な認証であるAMBAを取得、アジア太平洋学部は観光学分野の国際認証であるTedQualを取得しています。最近も、2022年6月9日に発表された2023年版QS世界大学ランキング¹にAPUが初めてランクインし、日本の私立大学では全国5位の評価を受けました。

APUでは現在、今後10年を標榜してAPU2030ビジョン、チャレンジ・デザイン²を掲げ、その実現に向けて取り組んでおり、APUの第2の開学として新たな挑戦を展開しています。本件は、このように更なる挑戦の歩みを進めるAPUに相応しい次期学長を公募するものです。

2. APU学長について

APUは、「我々は、21世紀の来るべき地球社会を展望する時、アジア太平洋地域の平和的で持続可能な発展と、人間と自然、多様な文化の共生が不可欠であると認識する。この認識に立ち、我々は、いまここにアジア太平洋の未来創造に貢献する有為の人材の養成と新たな学問の創造のために立命館アジア太平洋大学を設立する」と宣言しています(立命館アジア太平洋大学開学宣言より)。APU学長は、その大学の代表となる方で、APUの副学長、学部長およびAPU内の主な役職者を任命し、大学運営および教学に関する事項を統括します。

APUを設置する学校法人立命館は、APUおよび立命館大学の2大学、4附属中学校・高等学校、1小学校から構成される総合学園です。APUの学長は学校法人立命館の理事の一員となり、学園の

¹ このランキングは、「学術関係者からの評判」「雇用者からの評判」「教員1人あたりの論文被引用数」、「ST比(QS独自の、教育へのコミットメント指標)」、「外国人教員比率」、「外国人学生比率」の6種類の指標で評価されており、APUは今年度のランキングにおいて、特に国際性を高く評価されました。外国人教員比率総合83位、外国人学生比率総合25位にランクインし、いずれも日本国内では1位の評価を受けています。

² APU開学宣言、APU2030ビジョン、チャレンジ・デザインについては、P4以降をご参照ください。

総長および理事長を補佐する副総長（APU 担当）の役職を兼務し、学校法人立命館の執行部として、総合学園全体をけん引する役割も持ちます。

なお、今回公募する人事の任期は、2024 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までの 3 年間です。

3. 学長決定のプロセス

立命館アジア太平洋大学学長候補者選考委員会により選考された学長候補者は、学校法人立命館の総長が理事長と協議の上、理事会に推薦し、理事会で APU 学長に選任されます。同様の手続きを経ることにより、現学長が再任される可能性もあります。

今回、この立命館アジア太平洋大学学長候補者選考委員会が選考する学長候補者を広く公募するものです。

4. 学長に求められる役割

- APU の開学宣言、基本理念を理解し、教育・研究、経営の責任者として組織を牽引する。
- APU2030 ビジョン、チャレンジ・デザインの実現を推進する。
- APU の多様性に富んだ環境と包摂的なコミュニティの深い理解に基づき、先進的かつ公平で透明性のある大学ガバナンス体制を構築する。
- APU の開学宣言に基づいて、APU2030 ビジョン、チャレンジ・デザインを実現し、さらに国内外への APU のプレゼンスを向上させるために、より高度な研究体制と研究環境整備に取り組む。
- APU 2030 ビジョンに則った学生の育成・輩出に向け、教育の質の高度化ならびに教学の仕組み等の改善に取り組む。
- APU の基本理念に共感する学生・教職員を世界各地から集めるために、APU が掲げる理念の体現者として、国内外に対して積極的に情報発信を行い、先頭に立って取り組む。
- 国内外の大学、行政機関、企業、地域社会など関連する機関のステークホルダーと良好な関係を構築し、APU との教育・研究・経営面でより強固なネットワークを拡充する。
- APU の財政運営に責任を持ち、事業と予算の一体的評価に取り組む。
- 国際大学、教育研究機関の長として、国内外の高等教育の発展に寄与する。

5. 学長に求められる資質

下記に掲げる項目は、学長に求められる資質全般を示すものであり、書類選考及び面接等により総合的に評価します。

- 博士号を有すること、もしくは博士課程を修了していること。あるいは、国際機関・企業などの組織において一定年数以上の運営経験がある方については、修士号以上を有すること。

また、以下のような資質を総合的に評価します。

- ・ 国際的研究業績、もしくは国内における優秀な研究業績。
- ・ 国内外の大学、もしくは研究機関の組織運営に携わった経験。
- ・ 国際機関・企業などの組織において豊富な運営経験。
- APU の特性と組織について深く理解し、APU のビジョンを実現する気概を有すること。また、尊敬できる大学人としての人格と品位を有すること。

- 多様なステークホルダーに対する共感力と傾聴力、および組織の改革と成長のための決断力と実行力を併せ持つ強いリーダーシップを有すること。
- 予測不可能な時代の様々な変化を適切に判断し、またいかなる場面にも対応できる柔軟な危機管理能力を有すること。
- DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、大学改革を目指しうる先進性、柔軟性を有すること。
- 異文化や多様性への深い理解が必要な環境で働いた経験があることが望ましい。
- 教育・研究の長たる知見と見識に加えて、国際社会と大学を取り巻く動向や情勢に対する鋭い洞察力を有すること。
- 大学の発展や認知向上に寄与する社会的ネットワークを有し、日本国内のみならず、世界に対する発信力を有すること。
- 英語および日本語の適切な運用能力を有すること。

6. 処遇等について

(1) 学校法人立命館の各種規程により決定します。

役員手当、通勤手当、住宅手当（または住宅費補助制度）、赴任旅費、赴任手当、個人研究費、賞与、退職金あり。社会保険加入。

(2) APU 学長はその職務に専念することが求められ、他の大学や企業等の常勤職は兼務できません。ただし、客員教授などの兼務は可能です。なお、立命館アジア太平洋大学利益相反規程等により、学校法人立命館と関係する企業の社外取締役、非営利法人の非常勤理事などは制限を受ける可能性がありますので、事前にご相談ください。

7. 応募方法

以下の書類を送付先住所まで郵便または e-mail でご送付ください。

(1) 本人応募の場合

①カバーレター、②履歴書と職務経歴書、③所信表明文（A4 版 1 枚、英語もしくは横書き日本語。パソコンで作成）、④推薦者がいる場合は推薦レター（自由書式）または照会先

(2) 推薦の場合

①カバーレター、②APU 所定の候補者推薦届出書（5 名以内の推薦者及び推薦文）

* 推薦の場合、書類審査を経た後、ご本人の応募の意思を確認します。

(3) その他

①本人応募・推薦ともに、カバーレター内に英語および日本語の運用レベルを明記してください。

②選考が進んだ場合、追加の書類を要請する場合があります。

③応募締め切りは、本人応募、推薦とも、**2023 年 3 月 15 日**です。

送付先&問い合わせ

〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1

立命館アジア太平洋大学 アドミニストレーション・オフィス（中嶋、中村、村田）

TEL：0977-78-1112

E-mail: apuadmin@apu.ac.jp

以上

【参考資料】

○立命館アジア太平洋大学開学宣言

人類は有史以来、地球上のさまざまな地域において自らの文化を築き、文明の進化を求めて多様な営みを繰り広げてきた。人類はまた、さまざまな制約と障壁を超えて、自由と平和とヒューマニズムの実現を求め、望ましい社会のあり方を追求してきた。

20世紀は政治・経済・文化のすべての領域においてかつてない進歩と飛躍の時代であり、人間の諸活動は地球的規模で展開されるに至った。また、二度にわたる世界大戦の経験を通して、国際連合をはじめとする国際協力のための機関が設立され、平和維持と国際理解に向けての取り組みが大きく前進した。

我々は、21世紀の来るべき地球社会を展望する時、アジア太平洋地域の平和的で持続可能な発展と、人間と自然、多様な文化の共生が不可欠であると認識する。この認識に立ち、我々は、いまここにアジア太平洋の未来創造に貢献する有為の人材の養成と新たな学問の創造のために立命館アジア太平洋大学を設立する。

立命館アジア太平洋大学は、「自由・平和・ヒューマニズム」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、2000年4月1日、大分県と別府市、さらに国内外の広範な人々の協力を得て、別府市十文字原に誕生した。世界各国・地域から未来を担う若者が集い、ともに学び、生活し、相互の文化や習慣を理解し合い、人類共通の目標を目指す知的創造の場として、立命館アジア太平洋大学の開学をここに宣言する。

2000年4月1日

○APU2030 ビジョン

APU で学んだ人たちが世界を変える。

この多文化が共生する国際社会には多様な価値観が存在し、対立や摩擦が否応なく生じる。異なる文化と価値観の違いを認めて理解し合い、自由で平和な世界を築く「世界市民」を育成する。これが、APUの目指す「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」という理念の核心である。

APUで学んだ一人一人が、自由と平和を追求する人間として、人間の尊厳に対する畏敬の念を抱き、世界で、日本で、それぞれの住む地域や立場で、他者のために、社会のために行動することにより、世界が変わる。

APU で育つ「世界を変える」人とは

他者と協働し、対話を軸に対立を乗り越え、社会に影響を与えることができる。

異なる文化との衝突や遭遇したことの無い困難への耐性がある。

多様な視点やアイデアから、新しい価値を創造することができる。

自分自身のゴールを描き、生涯学び成長し続けることができる。

「世界を変える」人を育てるために APU は

比類ない多国籍・多文化環境を活かして、世界市民として成長するための学習や活動の機会及び生活環境を提供し、世界に誇るグローバル・ラーニング・コミュニティを創成する。

教育・研究の質を絶え間なく向上させ、世界で通用する新たなグローバル・ラーニングの価値を創造する。

APUの財産である世界中の卒業生や地域社会のステークホルダーとのつながりを深化させ、教育活動や大学運営で協働する。

—APU は世界に誇れるグローバル・ラーニング・コミュニティを構築し、そこで学んだ人たちが世界を変える。

2015年3月24日

○チャレンジ・デザイン

チャレンジ・デザイン概要

APU2030 ビジョン実現のため、2021 年度から 10 年間にわたり取り組む中長期計画が「チャレンジ・デザイン」です。3つの重点目標、6つのアクションプランを掲げ取り組んでいきます。

3つの重点目標（2021年～2030年）



多文化共生キャンパス

APU は、比類ない多国籍・多文化環境を活かして、世界市民として成長するための学習や活動の機会及び生活環境を提供し、世界に誇るグローバル・ラーニング・コミュニティを創成します。



グローバル・ラーニング

APU は、教育・研究の質を絶え間なく向上させ、世界で通用する新たなグローバル・ラーニングの価値を創造し、世界に通用する研究を発信します。



地域連携

APU は、世界中の卒業生、世界各地の地域社会、各種ステークホルダーとのつながりを深化させ、教育活動や大学運営で協働します。

6つのアクションプラン（2021年～2030年）



国籍数などにとどまらず、文化・宗教・性別などの多様性をも豊かに包摂する場（Diversity & Inclusion）へー新たな成長を追求し、創造的かつ国際競争力のある教育を創出します。

（取り組み例）

- 多様化を受け止めるインクルーシブな学生支援体制の構築
- 新学部開設（2023年度）などによる新たな学問領域への挑戦と学部教学の特色化
- リアル/バーチャルのベストミックスによる APU Global Learning の展開



社会・地域に貢献する国際通用性のある研究を推進します。

（取り組み例）

- インクルーシブリーダーシップなど APU の研究の特色化/高度化
- 国際共同研究の推進強化
- 国内外の研究者・研究機関とのオープンコラボレーションを促進する研究支援



世界の、地域・社会の成長に貢献します。また、大学を中核とした民官学の新たな地域発展モデルを創出します。

(取り組み例)

- 世界で展開される地域連携を支援・統括する拠点の構築
- 国内外複数の地域との継続的な連携、協働関係の構築



APU で学んだ学生が世界で活躍し、貢献できる多様なライフスパン・キャリアを強化します。

(取り組み例)

- 国際機関キャリア、海外等大学院進学、起業家・社会起業家など多様なキャリア支援
- 各種キャリアにおける世界で活躍する APU 校友との連携



グローバルリーダーとして世界を変える卒業生組織・卒業生ネットワークを高度化します。

(取り組み例)

- 国地域単位以外の特色ある校友ネットワークの形成・高度化
- APU を通じて校友が学び続ける仕組みの構築



Global Learning Community を支える組織・基盤を構築します。

(取り組み例)

- 教職員の能力向上を支える制度整備
- 国際標準の職員組織整備
- 財政基盤の強化

2020 年 11 月 27 日